

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和4年度 相武台地区まちづくり会議 第1回全体会		
事務局 (担当課)	相武台まちづくりセンター 電話046-254-3755		
開催日時	令和4年6月29日(水) 午後7時から午後8時50分まで		
開催場所	相武台公民館 2階 大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他	7人(別紙のとおり)	
	事務局	4人(菅谷区長、仙波副区長、外2人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会議の傍聴 3 あいさつ 4 市からの状況報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次期一般廃棄物最終処分場候補地選定、現処分場の嵩上(延命化)整備について(清掃施設課) (2) 麻溝台・新磯野地区整備推進事業について(麻溝台・新磯野地区整備事務所) 5 自己紹介 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 昨年度の活動について (2) 今年度の活動について (3) まちづくりを考える懇談会のテーマ募集について (4) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項など (5) 今後のスケジュール (6) その他 		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 会議の傍聴

傍聴希望者はいなかった。

3 あいさつ

瀬尾会長、南区役所 菅谷区長及び仙波副区長よりあいさつがあった。

4 市からの状況報告

- (1) 次期一般廃棄物最終処分場候補地選定、現処分場の嵩上（延命化）整備について
清掃施設課より資料に沿って説明があり、次のとおり意見等があった。

なお、遮水シートなど安全性に関わる内容について、8月30日に予定している次回のまちづくり会議で説明を行うこととなった。

(瀬尾会長) 嵩上げ工事では、何台のダンプカーで土砂を運び出すのか。また、相武台地区の中学生が自転車で走行しているが、どのような安全対策をするのか。

(市) 工事全体で約5,000m³の土砂の搬入を予定しており、800～900台のダンプカーが必要となる。道路幅の広い県道を通るよう指導や時間帯を指定することなどにより安全に配慮したい。

(瀬尾会長) 来年度以降、麻溝台・新磯野地区整備推進事業が動き出すことにより交通量が増えるはずだが、両部署で調整はしているのか。

(市) 麻溝台・新磯野地区整備推進事業では地中障害物を搬送することはあるものの、来年度すぐのダンプカーを使った造成工事は予定していない。交通事故が多いことは承知しているため、安全に配慮し、他の工事の状況も把握しながら実施していきたい。

(瀬尾会長) 現在も多くのダンプカーが走っており、事故が起こってからでは遅いので、事前に安全対策をお願いしたい。

(大西委員) 廃棄物の処分場ということで健康への影響が心配である。もっと人の居ない山奥に整備すべきではないか。

(市) 基本構想を策定し、次期最終処分場の検討を始めており、まずは法的に整備可能かのスクリーニング作業を実施し、9箇所の候補地を選定した。その後、審議会でも、南清掃工場からの近さや自然環境への配慮、近隣に人家があるか等の項目で審査を行い、現在の4箇所の候補地となった。色々な心配、意見や質問があると思うので、皆さまの声を聴きながら課題整理を行っていきたい。

(長堀理事) 住民の不安である健康への影響についてはどう考えているのか。

(市) 最終処分場において最も対策すべきことは、雨により処分場内の廃棄物に含まれる重金属等が流れ出ることである。国の基準により様々な安全対策を実施し

ており、第2期整備地の場合は、処分場下部に遮水シートと不織布、更に処分場を囲むように厚さ55cmのセメント壁を地下30mの深さまで設置している。

さらに、セメント壁の内側と外側で水位を常に調整し、内側の水が外に出ないようにしつつ、溜まった水は水処理施設において、薬品処理により安全基準を満たした水にして下水道へ放流している。そして、月1回は周辺の地下水を点検して漏れがないか確認している。また、ごみを焼却した後の灰は、埋立てしたその日のうちに土を被せ水を撒くことで、飛散を防止している。

(瀬尾会長) A3資料「相模原次期一般廃棄物最終処分場候補地選定について(概要版)」の「7. 2次評価結果(答申する候補地の選定)」の「環境条件 放流先の状況」について、緑区の候補地は全てCとなっているが、今の説明だと全てAになるのではないかと。また、昭和54年から最終処分場が開始されているが、その際は住民説明を行ったのか。

(市) 南区の候補地は下水道へ放流することができるためA評価としたが、緑区の候補地は下水道の供用区域外のため川へ放流する形で評価しており、整備する場合でも高度な処理や費用も高額となることからC評価となっている。

(瀬尾会長) 下水道を接続すればよいのではないかと。

(市) 下水道に接続できれば安全性が一層確保されるため検討は行っているが、現段階では技術的にも金額的にも難しい部分があるためC評価となっている。

(高橋副会長) 新たな処分場の整備は初めて聞いた話だ。もっと前もって話をすべきだし、今の処分場だって本当は反対したいのに、また新たに整備するなんて、相模原市は広いのにこの地区だけで担うのはおかしくないか。

(市) 今回は整備が確定した話ではなく、候補地4箇所のうち相武台地区に関する候補地が2箇所あるという話である。市内全域で候補地を探したが、該当する場所は9箇所しかなく、審議会での検討により4箇所の候補地に絞られたという報告である。

(高橋副会長) 話は分かるが、既に1つあるのだから、新たに整備しても大丈夫だという安易な考えに思える。何故、この地区だけに集中するのか。

(川崎委員) 市民に対して、今後の動きを目に見える形で伝えることが大事であり、市が方向性を見定める前に、市民が方向性を考えられる余地があれば、話の受ける側の気持ちも違うのではないかと感じた。

現在の処分場に使われている遮水シートは永久不滅のものではないと思うが、耐久性がどれくらいあるのか。また、耐久性がなくなった場合の対応は。

(市) 遮水シートの耐久年数は定まっていないと認識しているが、改めて確認する。仮に破れたとしても、セメント壁により水の流出を防ぐ構造となっている。

(川崎委員) セメント壁は横の話であり、下にある遮水シートが破れた場合のそれに代わる対策が必要ではないか。すぐに問題があるということではないかもしれ

ないが、将来に向けた安全性を担保すべき。

(長堀理事) 安全対策が国の基準によるものであり、処分場は全国的に整備されていることから、他の自治体での実績があるはずである。そういった資料を示してもらえれば、一つの安心材料となる。

(市) 資料がないため、次回のまちづくり会議で回答させていただく。

(荻原委員) 遮水シートがあるから安全だと言っていたが、耐久年数はわからないというのは無責任だと思う。どういう化学物質があり、どういった毒性が何年後になくなるのか科学的な説明がほしい。住民からすると、1度埋めたら未来永劫残るものであるため、リスクについて資料やデータでちゃんと伝えてもらわないと納得できない。

(市) 先ほどの内容と併せて次回お示ししたい。

(長堀理事) 月1回、地下水の水質検査を行っているのであれば、そういった測定データを実績値として知らせてもらえると理解しやすい。

(宮本委員) 現在の処分場の地下について、現状とこれからどうしていくのか情報を次回提供してほしい。他の自治体でシートが破れた事例などがテレビで放送されるが、我々もそこが一番不安なところである。水は下水道に流すとのことだが、どのような設備でどうやって処理をしているかも提供いただきたい。

(松嶋副会長) 自治会長会議などで処分場が4つの候補地に絞られたことは聞いていたが、これから始めることや安全性の担保などについても併せて情報提供をお願いしたい。住民としては、例えば、灰が舞い上がって我々の地域まで飛んでくることはないかなどの不安はあるので、説明はしっかり行っていただきたい。

(瀬尾会長) 嵩上げと次期候補地の話が混ざってしまったので、別々に話した方がよかった。安全性については、国の基準は最低基準であるため、追加して実施し対策等をわかるような資料を示してほしい。

(大西委員) この内容は議会を通して決まるのか。市議会議員は知っているのか。

(市) 整備に関する予算の執行は議会の承認が必要である。

(松嶋理事) 住民へ説明する機会はあるのか。

(市) 環境アセスメントや住民説明を行うこととなっている。

(2) 麻溝台・新磯野地区整備推進事業について

麻溝台・新磯野地区整備事務所より資料に沿って説明があり、次のとおり意見等があった。

(大西委員) 事業が進むことで地域が良くなると思っており、計画には賛成をしている。ただ、先ほどの最終処分場の話になるが、こういった計画がありながら、どうしてその近くに処分場を新たに計画するのか疑問である。

(佐藤委員) 地中障害物はどの場所に多く出ているのか。村富線沿いか。

(市) 発出場所は点在しており、地域性はないと考えている。これまでの土地の使

われ方があって、今に至っているのではないか。

(佐藤委員) 住宅開発がされたとしても、色々な地中障害物が出てきて、なかなか進まないのではないかと心配している。

(市) 事業全体では約148ヘクタールもあり、すべての地中障害物は確認できていないが、第一整備地区についてはおおむね確認でき、事業の再開を決めたところである。お示した期間内、予算内で事業が完了するよう努めていきたい。

(松嶋理事) 示された見直し案は、少子化や経済活動の縮小など負の社会経済情勢のみを踏まえたもので、相武台の発展を妨げるものである。財政負担の難しさは承知しているが、経済活動が発展していくことを見据えたものとしなければ、負の遺産を残すこととなってしまう。そこで、現行案で進めるためには、どれだけの財政負担があり、どうしてできないのかを示してほしい。また、今は見直し案として進めるしかないのであれば、社会経済情勢が好転した場合には、縮小した都市計画道路についても現行案に復活できるような見直し案としてほしい。

(市) 第一整備地区については、人口減少などを踏まえると居住区域の見直しをすべきとの声があるかもしれないが、現行案を維持するような見直し案とした。現行案をそのまま進めると試算では約541億円もかかるため、まちづくりのグレードを落とすことなく、コストを削減することで現行案の土地利用計画を維持した見直し案とした。また、都市計画道路については、第一整備地区を横断する形で北部・南部の地区と併せた計画としていたが、まずは第一整備地区の中で整備していくことを考えている。都市計画道路としてはそのように考えているが、道路そのものをなくす訳ではなく、今後、北部地区、南部地区について、民間事業者と連携し、地域の方々と相談しながら、計画していくものと考えている。

(高橋副会長) 第一整備地区はわかったが、南部地区はどうなっているのか。

(市) 南部地区の一部について、ある民間事業者から相談を受けており、事業化の見込みがあるか検討している段階である。その他にも様々な事業者から話をもらっており、南部地区まちづくり研究会の意見も踏まえ、今後、検討を進めていく。

(瀬尾会長) もえぎ台小学校近くに住宅があるにもかかわらず、見直し案では産業系の利用としている。答えは求めないが、もっと温かみのある計画としてほしい。

(宮本副会長) 南部地区は自分の地域でもあるので、産業系の色に塗りつぶされていて悲しい。現行案の説明を受けた時は先が見えた気がしていたが、これだと当分は市街化調整区域が外れないのではないかと感じた。

(高橋副会長) 相武台地区に対してやるのが厳しい。このままだと市のペースで進められてしまうので、しっかりと反対の意思を表明しないといけない。

(市) 地域の方々との対話をしながら進めていくものであり、市だけで決めていくものではないため、今後も話し合いの場を設けさせていただきたい。

5 自己紹介

会議時間の関係で、自己紹介は次回に行うこととなった。

6 議題

(1) 昨年度の活動について

事務局より資料に沿って説明を行い、意見等はなかった。

(2) 今年度の活動について

事務局より資料に沿って説明を行い、意見等はなかった。

(3) まちづくりを考える懇談会のテーマ募集について

瀬尾会長からの説明後、事務局より資料に沿って説明を行い、意見等はなく、8月17日（水）までにテーマを提出していただくこととなった。

(4) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項など

会議時間の関係で、今回は省略した。

(5) 今後のスケジュール

11月に開催予定のまちづくりを考える懇談会の開催時刻について、午後6時からとすることが了承された。また、次回のまちづくり会議についても開催時刻を変更し、8月30日（火）午後6時から開始することとした。

(6) その他

会議録については、委員が内容を確認された後、市のホームページに掲載することが確認された。

相武台地区まちづくり会議 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	瀬尾 守一	相武台地区自治会連合会	会長	出席
2	高橋 孝雄	相武台地区社会福祉協議会	副会長	出席
3	砂村 久三子	相武台地区民生委員児童委員協議会	副会長	出席
4	宮本 憲雄	相武台公民館	副会長	出席
5	松嶋 保和	相武台地区自治会連合会	理事	出席
6	奥野 智	相武台地区自治会連合会	理事	出席
7	長堀 直美	相武台地区自治会連合会	理事	出席
8	小林 勉	南区安全・安心まちづくり推進協議会 相武台支部		出席
9	荻原 正人	相武台地区青少年育成協議会		出席
10	永井 保子	相武台公民館運営協議会		出席
11	迫 良寛	相模原市青少年指導委員連絡協議会 相武台地区協議会		欠席
12	佐藤 隆一	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
13	中山 あゆみ	小学校PTA		出席
14	関塚 孝枝	相武台中学校PTA		欠席
15	大西 輝佳	相武台こどもセンター		出席
16	堀田 典子	相模原市立相武台第3児童館		出席
17	塚田 幸恵	相武台地区老人クラブ連合会		出席
18	川崎 知恵子	相武台地域包括支援センター		出席
19	溝口 興二	商店街		欠席
20	神藤 次郎	相模原看護専門学校		出席
21	山口 恒	相模原市消防団南方面隊第2分団		欠席
22	三畑 武一	経験有識者		欠席